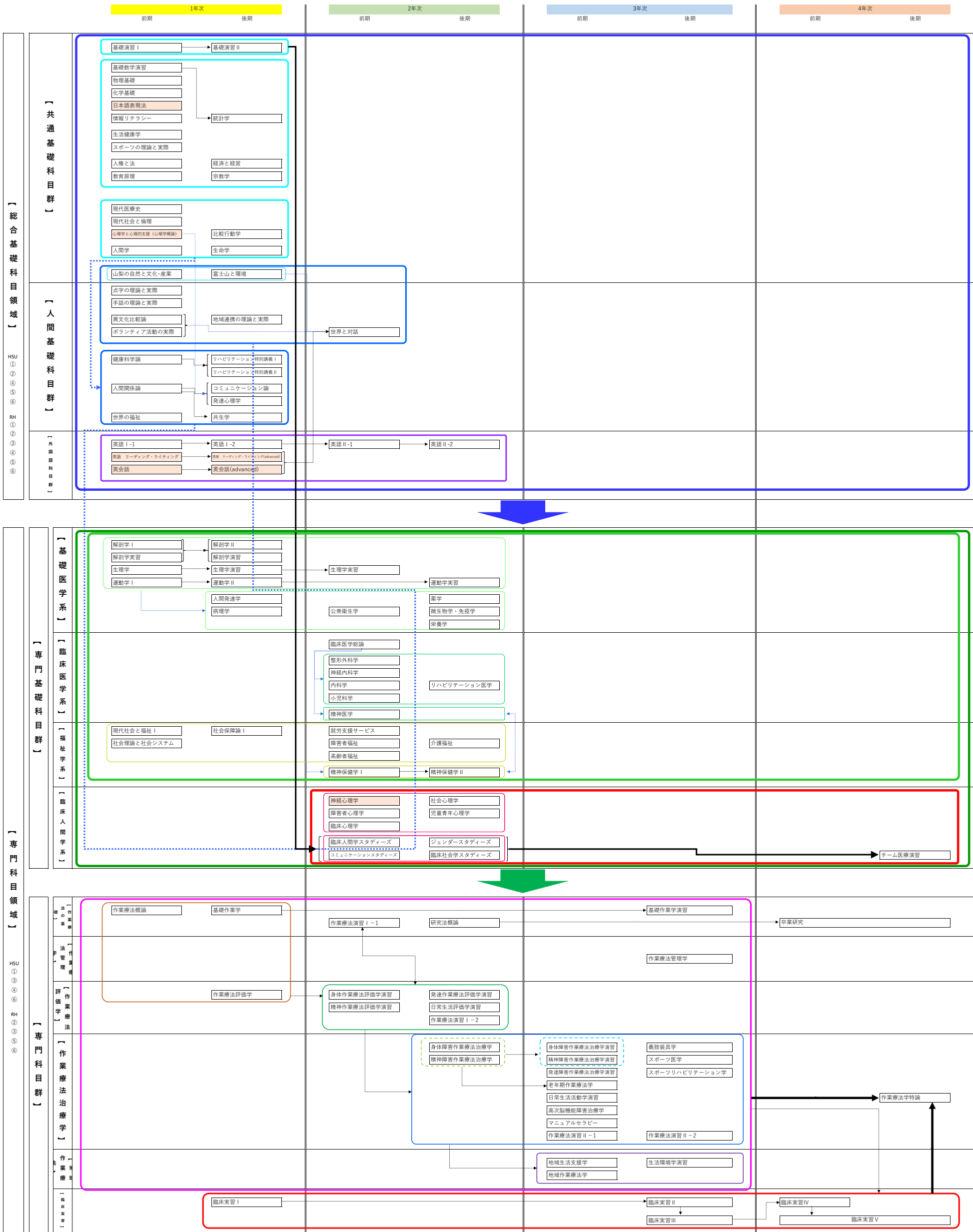


## 【リハビリテーション学科ディプロマポリシー 表記記号】

種別	関連性
実線	大きく関連するもの
点線	一部関連するもの



科目区分説明：リハビリテーション学科作業療法学コース

【健康科学大学ディプロマポリシー 表記記号】	
ポリシー	表記記号
① 生命に対する深い理解力、人権を尊重する高い倫理性、他者を思いやる豊かな人間性を身につけている。	HSU①
② 専門的な知識・技術力とそれを活かすための幅広い教養を身につけている。	HSU②
③ QOL(Quality of Life)の重要性と多様性を理解し、全人的な視点から支援することができる。	HSU③
④ 関連職種と協働しチームの一員として役割を果たすためのコミュニケーション能力を身につけている。	HSU④
⑤ 様々な課題に対応できる社会人としての基礎力を身につけている。	HSU⑤
⑥ 社会の変化や技術の進展に対応でき、自己研さんする力を身につけている。	HSU⑥

【リハビリテーション学科ディプロマポリシー 表記記号】	
ポリシー	表記記号
① リハビリテーション対象者並びにその家族に対し、それぞれの尊厳を高められるような関わりができる。	RH①
② 理学療法学と作業療法学を基本としたリハビリテーション科学についての専門的な知識・技術力とそれを生かすための幅広い教養を身につけている。	RH②
③ 日常生活の大切さと、一人ひとりの多様性を理解し、専門家としての全人的に支援することができる。	RH③
④ チーム医療に必要となる、他職種の専門性についての知識やコミュニケーション能力を身につけている。	RH④
⑤ 社会の変化や医療技術の進展に対応でき、自己研さんする力を身につけている。	RH⑤
⑥ 専門分野に限らず様々な課題に対応できる社会人としての基礎力を身につけている。	RH⑥

【総合基礎科目領域】	
人間や社会に関する科学的理解を深め、生命の尊厳と人権の尊重に根ざした高い倫理観を養成し、社会人・職業人としての基礎力・自己研さんする力、他者と共働するためのコミュニケーション能力を培います。  ≪関連ディプロマポリシー HSU①・HSU②・HSU④・HSU⑤・HSU⑥≫	<b>【共通基礎科目群】</b>  医療・福祉・心理の専門科目習得の基礎となる「人間についての基礎的理解」とその応用を可能にする「科学的思考力」「情報リテラシー」を修得するとともに、近代社会が開示した基礎的学問（医療史、心理学、社会学、倫理学など）を学び、今日の医療・福祉の基礎となる「人間学」について学修します。
	<b>【人間基礎科目群】</b>  今日の「健康と福祉」の理念および人間関係の基礎を学習するとともに、多文化共生社会における医療・福祉・心理の人材としての認識と教養を養い、異文化間コミュニケーションの能力を身につける本学独自の科目を用意しています。
	<b>【外国語科目群】</b>  医療・福祉・心理の人材として、グローバル化社会に対応できる語学力と実践的コミュニケーション能力を身につけます。

【専門科目領域】	
≪関連ディプロマポリシーHSU①・HSU③・HSU④・HSU⑥・RH①・RH②・RH③・RH④・RH⑤・RH⑥≫	
<b>【専門基礎科目群】</b>	
医療・保健・福祉・心理のみならず、その関連領域と連携できる高い教養と専門関連知識を身につけます。また、差別や偏見にとらわれない専門職者・職業人としての見識を養います。	
<b>【基礎医学系】</b>  基礎医学系では、医学の基礎を修得するための授業科目が設置されています。解剖学、生理学、運動学、病理学など、理学療法・作業療法を学ぶ上での基盤となる医学知識を身につけるために、演習や実習も取り入れ段階的学べるように科目を構成しています。同時に、福祉や心理の領域を学ぶ学生が人体の構造と機能についてより深く学ぶことができるようになっています。	<b>【臨床医学系】</b>  臨床医学系では、理学療法・作業療法を修得する上での基本的素養となる病態・診断・治療についての科目が設置されています。また福祉・心理の領域を学ぶ学生に対しては福祉と医療または心理と医療の密接な関係を理解できるように、臨床医学全般について広く学べるような授業科目を設置しています。作業療法や福祉・心理的支援を行う際には精神疾患に関する知識も必要となるため、精神医学や精神疾患に係る科目も設置しています。
<b>【福祉学系】</b>  福祉学系では、社会福祉学を中心とし、現代社会の課題を理解する授業科目で構成されています。具体的には少子高齢化が進む社会に対応するための社会保障の課題、高齢者や障害者などの生活弱者の理解、さらにはメンタルヘルス問題に関する授業科目を設置しています。それにより、今日的課題である地域共生社会の実現における医療専門職の位置づけや役割に関する幅広い知識を身につけることができます。	<b>【臨床人間学系】</b>  医療・福祉領域における専門家は、高い専門的知識や技術力と同時に、人間を理解するための新たな知見（心理学、社会学、生命学やジェンダー論など）を得ることが必須です。本学は臨床現場において自ら思考し自立した専門家を育てるために、臨床人間学系の科目を充実させています。
<b>【専門科目群】</b>	
医療・福祉・心理に関わる専門職者・職業人が必要とする高度な知識や技術・技能、さらに人間学に基づく臨床の知を身につけられる講義や実習を用意しています。また、それぞれの学科においては、国家試験受験資格取得に関わる指定科目等が無理なく履修できるように、科目の学年配当や必修科目・選択科目の配置を工夫しています。	
<b>【基礎作業療法学】</b>  作業・活動に焦点を当て、作業療法における運用の仕方を学習する。また、作業・活動がどのように選択され、治療に使われるのか、その理論と実際を学ぶ。	<b>【作業療法管理学】</b>  管理・運営業務を適切に遂行するために必要な基本的知識や態度を修得するとともに、その背景にある社会情勢も把握する。
<b>【作業療法評価学】</b>  作業療法の評価に関する知識および技法を理論・演習を通じて学習する。さらに、それらが各領域での実践において、どのような意味を持つかについても学ぶ。また、ICFを用いた事例基盤型学習に基づく肯定的・否定的側面の評価および関連付けを行い、治療に結びつけられる視点を養う。	<b>【作業療法治療学】</b>  対象者の疾患や障害等起因する生活障害に焦点を当て、各領域に応じた治療の概要や実践プロセスの学習、作業療法の治療・指導・援助法を習得する。
<b>【地域作業療法学】</b>  介護保険をはじめとする諸制度との関わりや地域作業療法の評価・プログラムの立案・実践過程について学習する。また、他職種との連携やさまざまな保健医療福祉のサービス事業所での実践事例を学ぶ。	<b>【臨床実習】</b>  臨床実習を経験するまでに学んできた知識や専門・社会的スキルを基に、それぞれの学年で基本的態度の学習、作業療法過程の見学、検査測定を含む評価の体験、治療技術の体験、管理・運営の体験を積む。